

2013年3月期決算説明会資料 ～決算および今後の成長戦略～

2013年5月21日(火)

【証券コード】4326

株式会社 インテージ www.intage.co.jp/



Copyright© 2013 INTAGE Inc. All Rights Reserved.



資料構成

■ 2013年3月期決算の状況

■ 今後の成長戦略

■ 2014年3月期業績見通し



■ 2013年3月期決算の状況

■ 今後の成長戦略

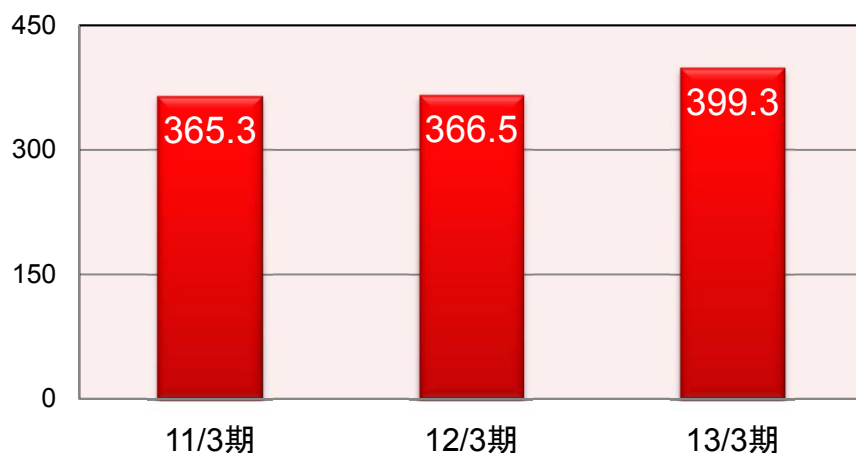
■ 2014年3月期業績見通し

財務ハイライト(連結)

売上高は業績予想をわずかに下回ったものの、過去最高を更新

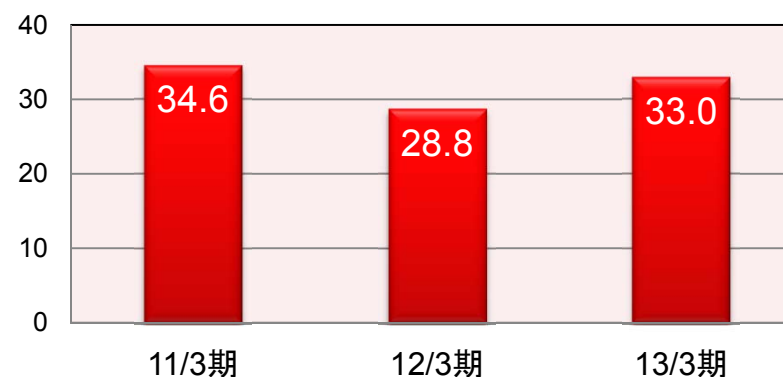
営業利益・経常利益は計画達成するも、特別損失の計上により純利益は減益

売上高

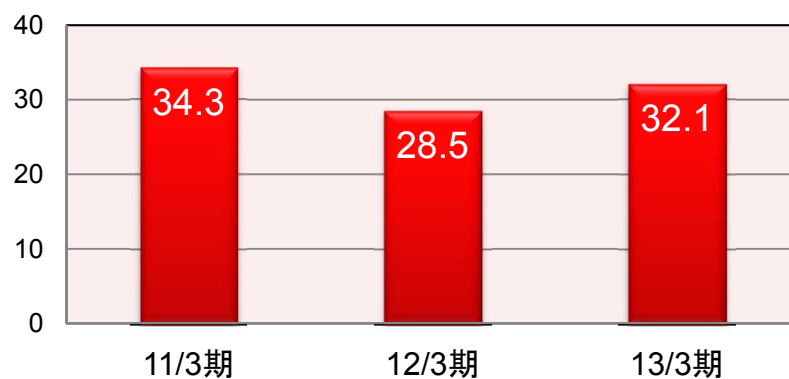


(単位はすべて億円)

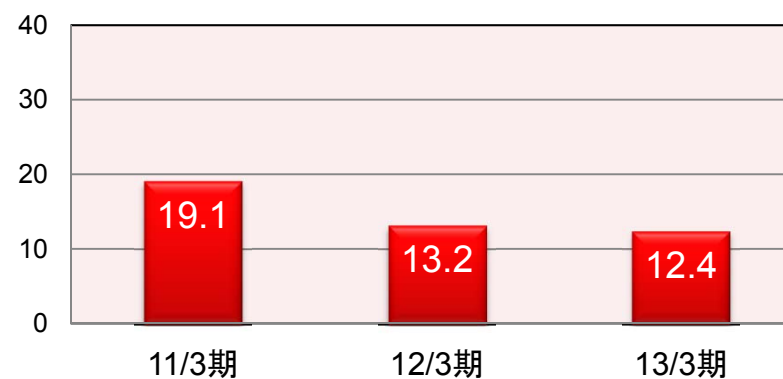
営業利益



経常利益



当期純利益



2013年3月期決算PLサマリー

(単位: 百万円)

			12/3実績	13/3予想	13/3実績	対前期比
連 結	売 上 高		36,658	40,225	39,930	+8.9%
	営 業 利 益		2,885	3,130	3,309	+14.7%
	経 常 利 益		2,859	3,088	3,213	+12.4%
	当 期 純 利 益		1,325	1,756	1,249	△5.7%
	E P S		131.85円	174.64円	124.30円	—
単 独	売 上 高		26,918	28,130	27,795	+3.3%
	営 業 利 益		2,228	2,409	2,289	+2.7%
	経 常 利 益		2,373	2,438	2,398	+1.0%
	当 期 純 利 益		1,297	1,457	790	△39.1%
	E P S		129.00円	144.97円	78.60円	—

2013年3月期決算BS・CFサマリー

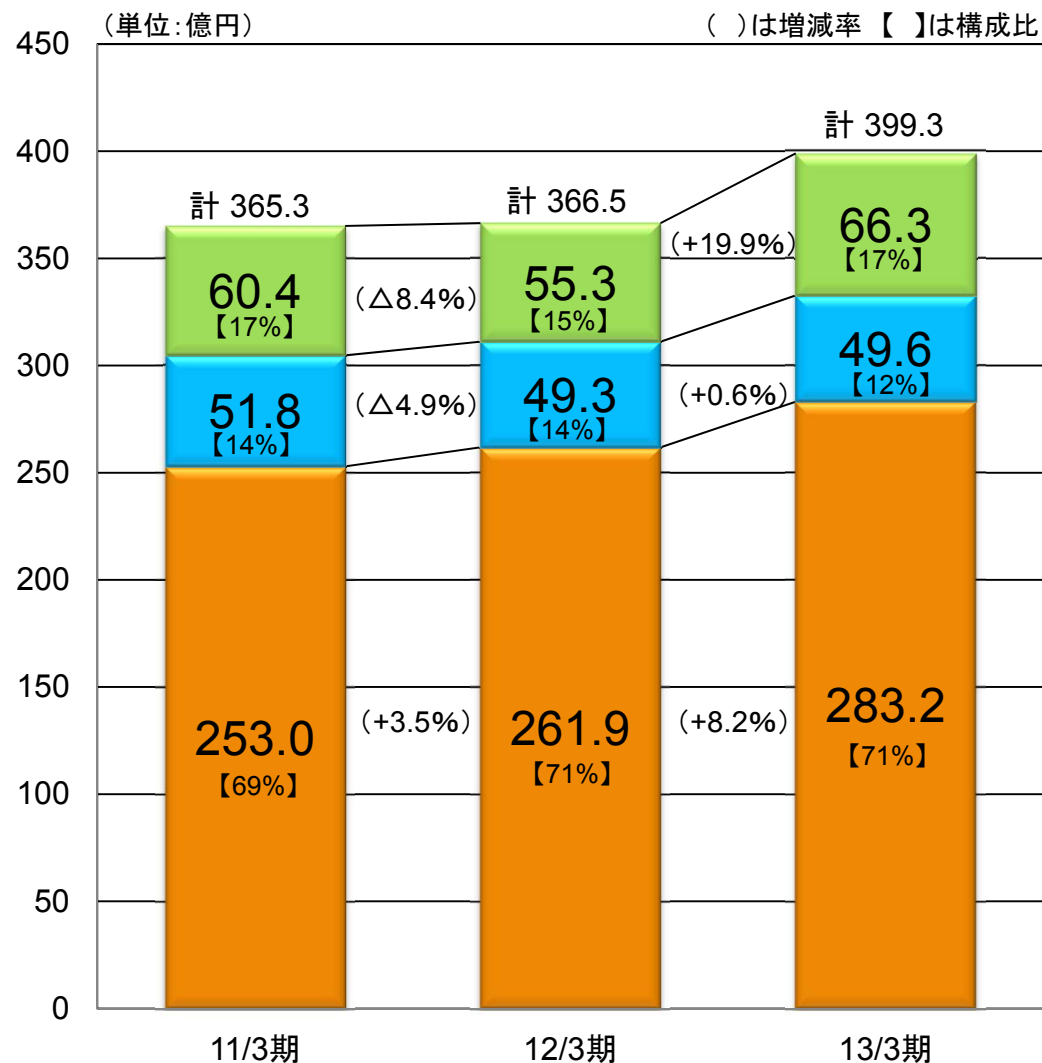
(単位:百万円)

連結貸借対照表要旨	12/3	13/3	増減	摘要
流動資産	15,591	18,269	+2,678	主に「現金及び預金」「受取手形及び売掛金」の増加
固定資産	12,139	11,128	△1,010	主に「投資有価証券」「のれん」の減少
資産合計	27,730	29,398	+1,668	—
流動負債	10,055	7,729	△2,326	主に「短期借入金」の減少
固定負債	3,157	6,174	+3,017	主に「長期借入金」の増加
負債合計	13,212	13,904	+691	—
株主資本	14,611	15,358	+747	主に「利益剰余金」の増加
その他包括利益累計額	△107	74	+181	主に為替換算による差額
少数株主持分	13	61	+48	—
純資産合計	14,517	15,493	+976	—

(単位:百万円)

連結キャッシュフロー計算書要旨	12/3	13/3	増減	摘要
営業キャッシュ・フロー	2,943	3,433	+490	主に「たな卸資産の増加額」の減少、「仕入債務の増加額」の増加
投資キャッシュ・フロー	△3,341	△1,332	+2,008	主に「投資有価証券の取得による支出」の減少
財務キャッシュ・フロー	675	△960	△1,635	主に「短期借入金の返済による支出」、「長期借入金の返済による支出」の増加
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	55	+70	—
現金及び現金同等物の増減額	262	1,196	+933	—
現金及び現金同等物の期首残高	4,337	4,599	+262	—
現金及び現金同等物の期末残高	4,599	5,906	+1,306	—

セグメント別売上高の状況



医薬品開発支援

- モニタリング業務での人員強化、データマネジメント・解析業務での営業力強化により増収

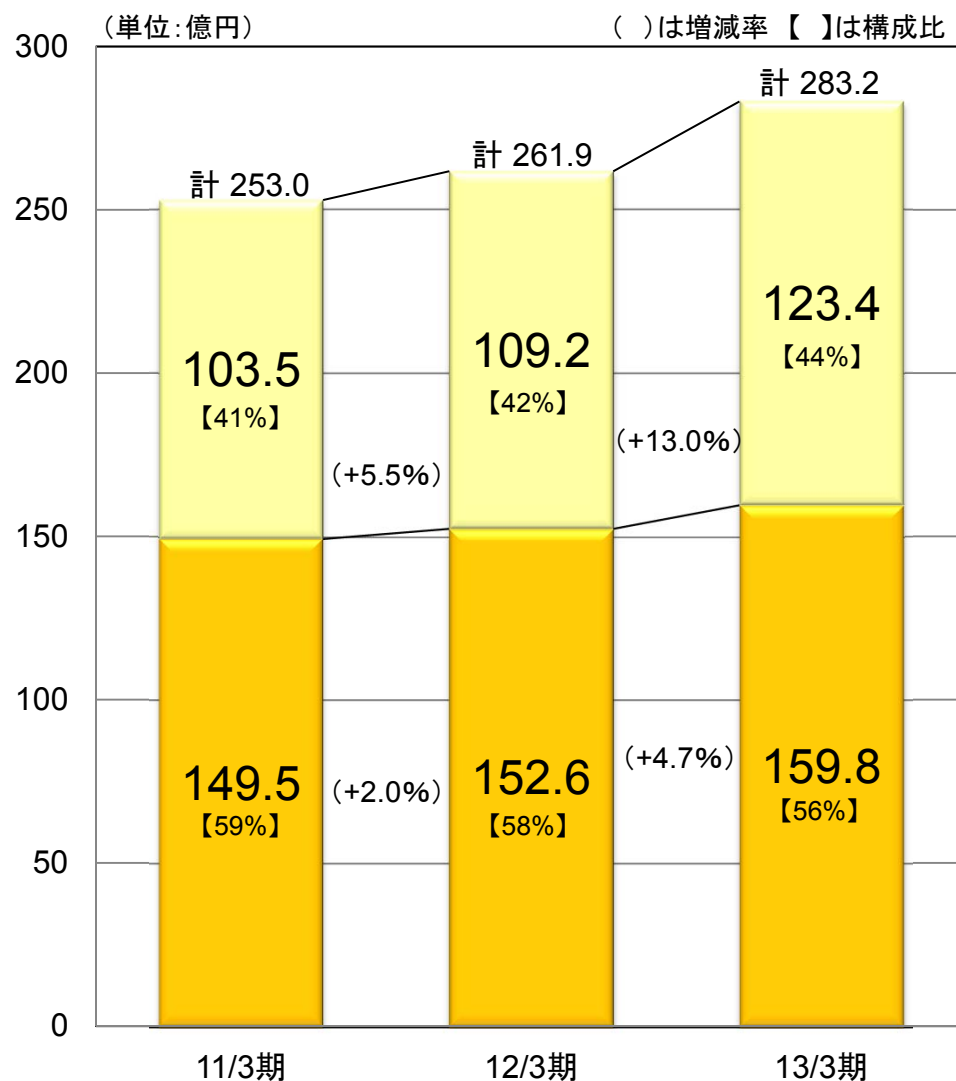
システムソリューション

- 企業のシステム投資が緩やかに回復し、前年度並みの売上を確保

市場調査・コンサルティング

- (パネル調査)
- SRI(全国小売店パネル調査)、SCI-personal(全国個人消費者パネル調査)が増収
- (カスタムリサーチ)
- 各SBUにおいて従来型調査、インターネット調査ともに好調に推移

市場調査・コンサルティング 売上高の内訳



市場調査・コンサルティング

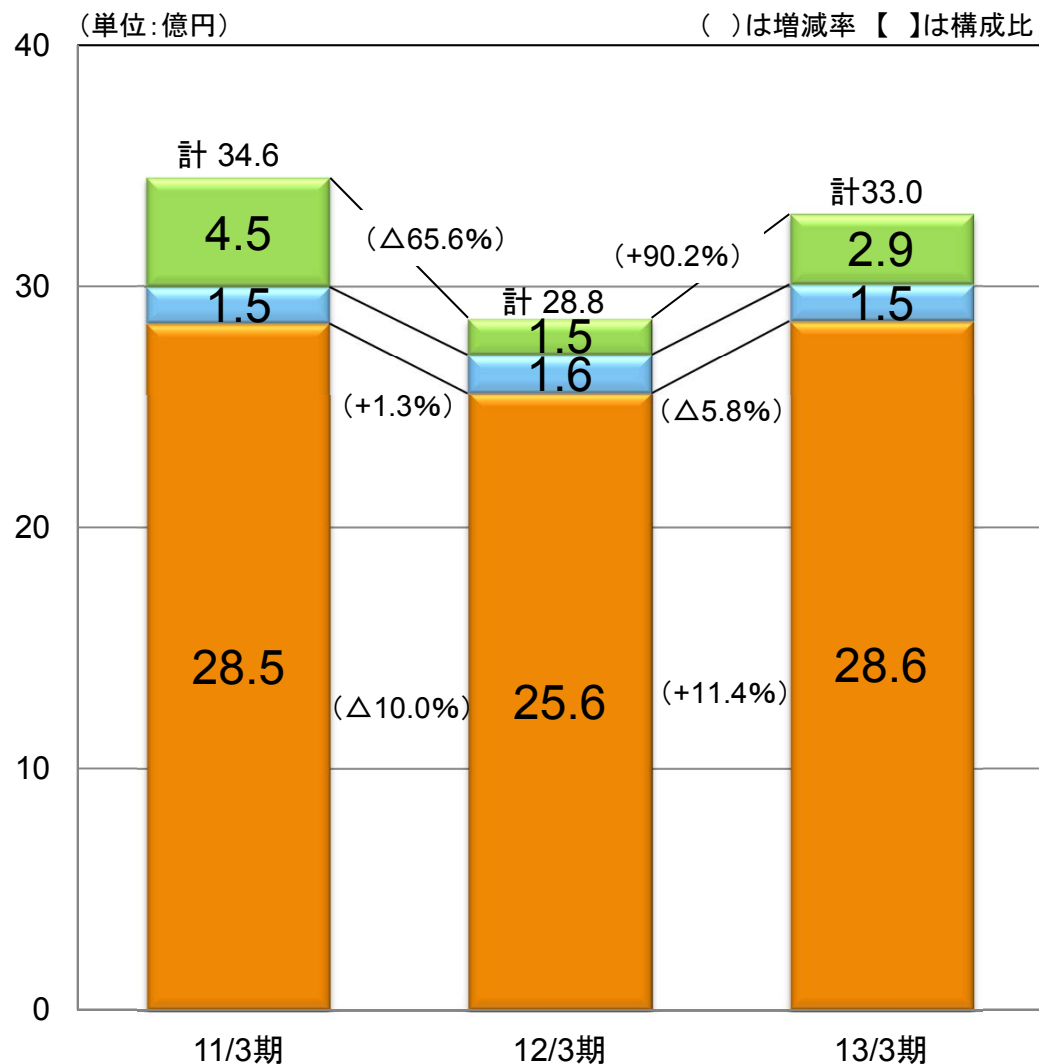
カスタムリサーチ

- ・ 従来型調査(郵送調査、面接調査 ほか)
- ・ インターネット調査

パネル調査

- ・ SRI(全国小売店パネル調査)
- ・ SDI(全国一般用医薬品パネル調査)
- ・ SPI(全国店頭プロモーション調査)
- ・ SLI(全国女性消費者パネル調査)
- ・ SCI-personal(全国個人消費者パネル調査)
- ・ Rep Track(MR活動評価指標) ほか

セグメント別営業利益の状況



医薬品開発支援

- モニタリング業務、データマネジメント業務とも順調に業務量が回復し増益

システムソリューション

- 旅行分野で業務量が回復するもわずかに減益

市場調査・コンサルティング

- (パネル調査)
- シングルソースパネル構築のための投資負担により減益
- (カスタムリサーチ)
- インターネット調査の売上増加に伴い増益
- タイ・ベトナムの子会社が好調、利益に大きく貢献



■ 2013年3月期決算の状況

■ 今後の成長戦略

■ 2014年3月期業績見通し

2012年度の進捗状況

インテージ

- Google等をパートナーとしたクロスメディアへの取り組みをスタートし、新たなプラットフォームの構築が進む
- FMCGは着実な顧客接近により、大手顧客での売上が伸長
- DCG・サービスは引き続き自動車・電機業界が好調、グローバルでは生活業界へも拡大
- 出版POSサービスは契約社数が100社を突破、名実ともに業界プラットフォームへ
- 旅行業界で大型案件を獲得

グループ会社

【国内】

- ドコモ・インサイトマーケティングはリサーチ環境の整備、モバイルインタビューの開発・販売をスタート。生活者パネル(仮称)の研究開発も実施
- JMIRIのグループ入りでRx・OTC両データの分析や、健康情報分野での影響分析モデル研究などが可能に

【海外】

- インテージ・インド、アスクレップ台湾・韓国を設立。拠点の拡充により売上が拡大
- インド農村部・ロシア・トルコ・カンボジア・ミャンマーなど新興国でも広範囲に業務対応
- 海外子会社ではインテージ・チャイナの事業再構築が重要課題

2013年度グループ基本方針

重点領域における圧倒的競合優位性の確立
～究極の顧客リレーション&武器づくりへ～

成長に向けたキーワード

モバイル

ドコモ・インサイトマーケティングとの協業によるマーケットの創造と奪取

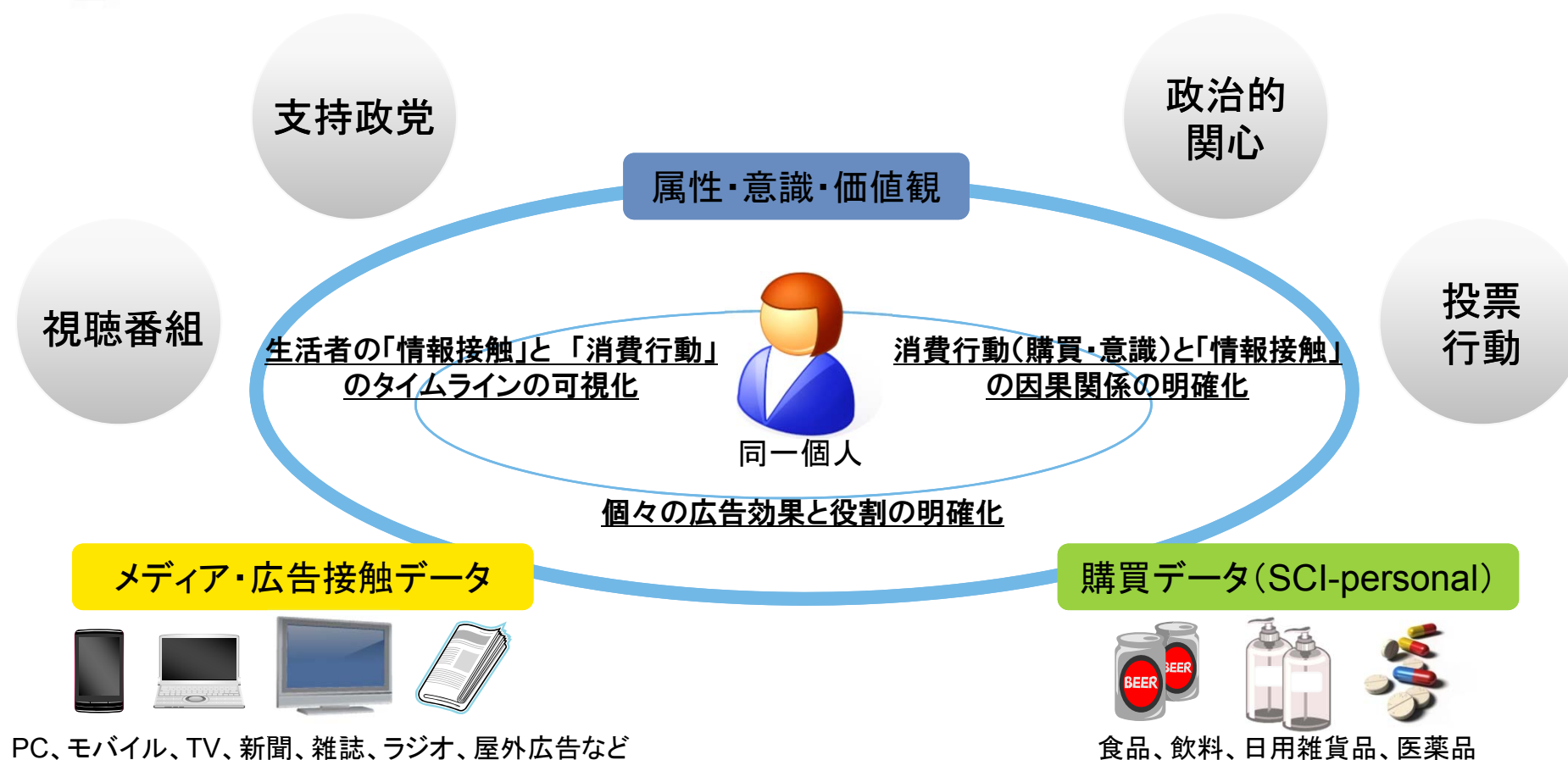
グローバル

新たな武器の創出によるグローバル展開の加速

ヘルスケア

グループシナジー戦略とストーリーの再構築

『i-SSP(インテージシングルソースパネル)』の活用



**付帯調査＋メディアとの接触データを絡めたシングルソース
ならではの選挙関連データの捕捉が可能
→政党本部・広告代理店・TV局等が想定クライアント**

スマホリサーチの確立

リサーチをもっとスマートに！

「スマホリサーチ」を2013年4月よりスタート

- ・モニターはドコモプレミアクラブ会員のスマホモニター全国約120万人
- ・PCモニターではアプローチしにくかった層へのリサーチが可能
- ・6割は既存のアンケートモニターに登録していないフレッシュなモニター
- ・当社オリジナルの調査票形式「i-タイル方式」(特許出願中)でPCの時と回答傾向は変わらず



スマート

スマホならではの手軽さ

調査画面、調査設計の自由度が高く、
手軽に実施できるサービス
⇒低コストで十分な調査結果を得ることが可能



クイック

即日納品の手軽なリサーチ

超特急のアンケートサービス

➤ クイックアンケート

⇒調査票11時入稿→同日19時にローデータ
納品(15問以内)

➤ クイックインタビュー

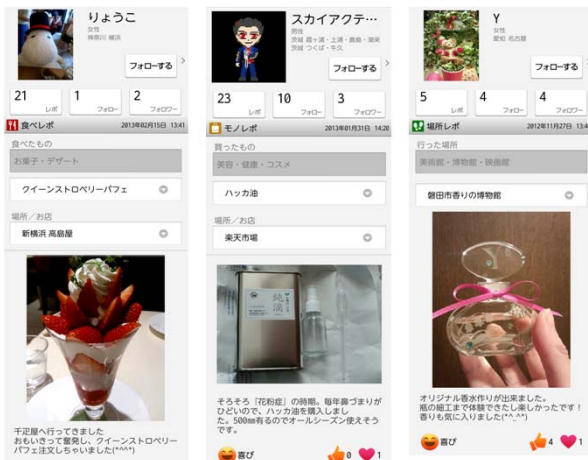
⇒10時発注→同日夜にはオンラインディス
カッションが可能

※諸条件有

※「プレミアクラブ」は、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です

ドコモ・インサイトマーケティングによるスマホ時代の新しい価値の提供

生活者パネル(仮称)



生活者
起点

レコーディングリサーチ

A screenshot of a 'Mission記録' (Mission Record) form. It contains several questions about drinking habits, such as '飲酒に関する記録' (Record of drinking), '設問1. お酒を飲み始めた時間' (Question 1. Time when you started drinking), '設問2. お酒を飲んでいた時間' (Question 2. Time when you were drinking), '設問3. お酒を飲んだ場面' (Question 3. Scene when you drank), '設問4. 同席者' (Question 4. Companions), and '設問5. 人数' (Question 5. Number of people). Each question has a '回答必須' (Answer required) label and a '選択' (Select) button.

インスパイアさせるデータ

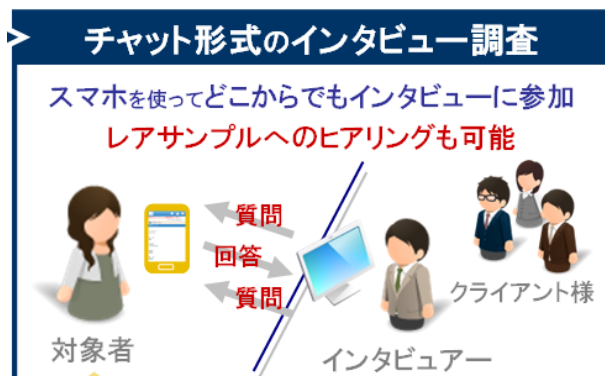
継続データ

今を知る

クイックリサーチ



モバイルインタビュー



↑ 気になった参加者に個別のインタビューも可能

つながりサーチ

ドコモ・インサイトマーケティングとの協業によるシナジー

「プレミアクラブ会員」を最大活用した 「対話型プロモーションサービス」



日本最大級の会員組織「ドコモプレミアクラブ」から最適なターゲットセグメントに対して、自在なセグメンテーションでインパクトのあるプロモーションが実施可能

STEP1

ターゲットセグメント
の指定
アクティブ会員約220万人※の
40種類以上の属性からセグメント

STEP2

対話型プロモーション
携帯・スマホへプロモを実施
サンプル送付許諾や
サイトへ誘導

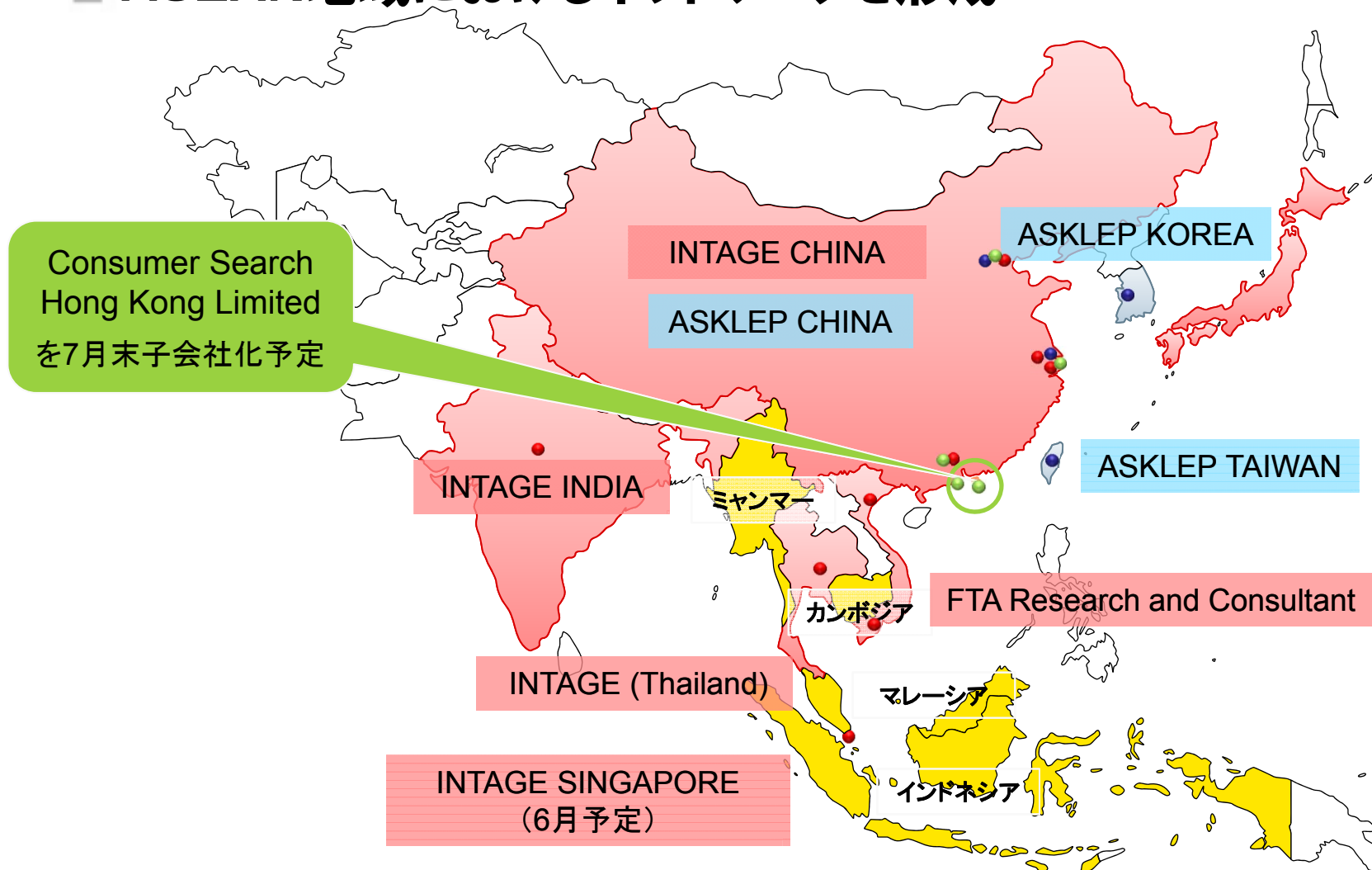
STEP3

事後アンケート
(オプション)
サンプル使用後の事後
評価の聴取も可能

※2013年3月末時点

ドコモ・インサイトのエージェンシーとして専門部署を設け、マーケティングリサーチ業務とは明確に切り離れたサービスとして展開

アジアでTOP5と戦い、勝利するために ASEAN地域におけるネットワークを形成



国内の研究ソリューションの海外展開を検討

Consumer Search Hong Kong Limited の概要

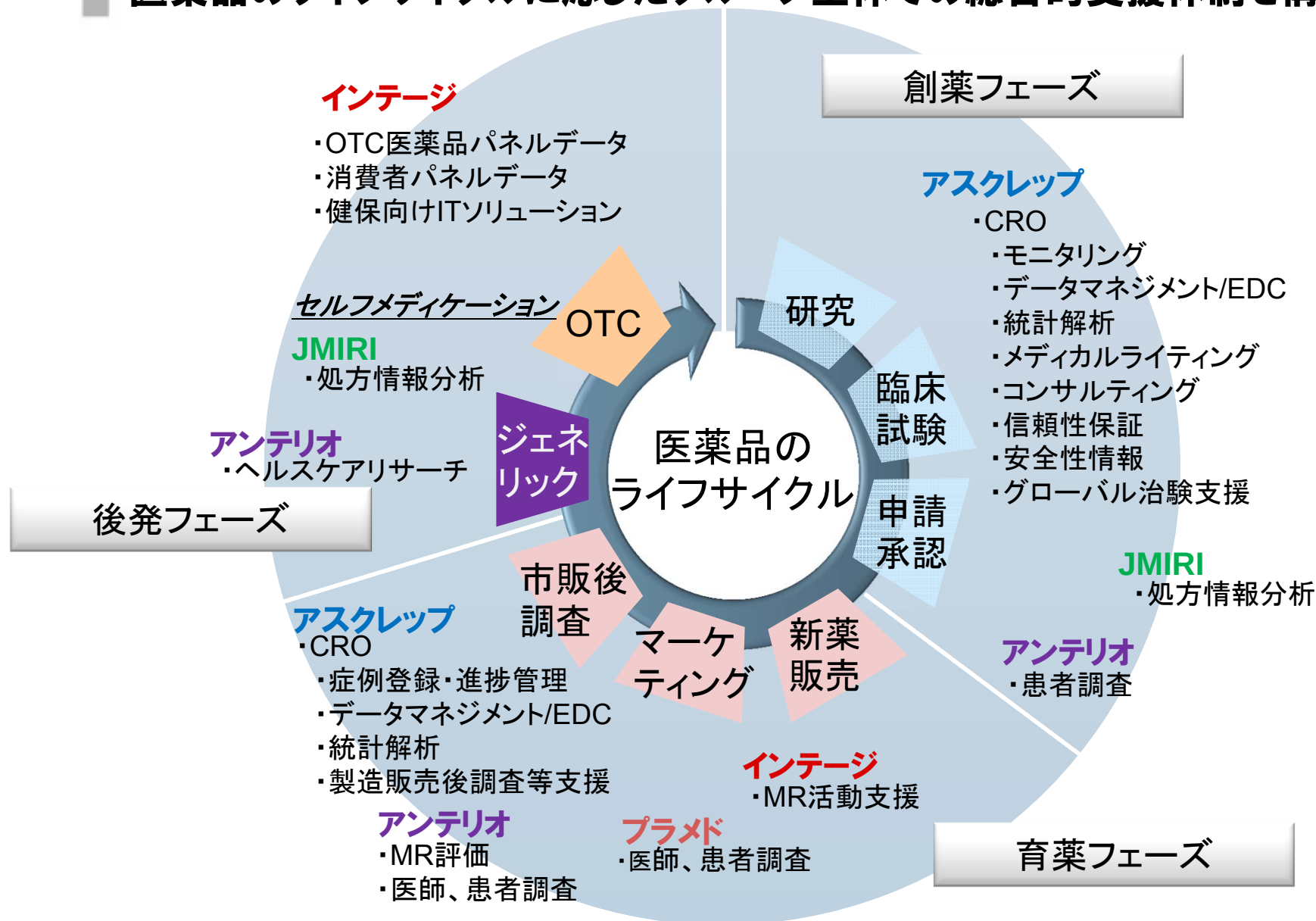
商 号	Consumer Search Hong Kong Limited (CSG香港)
代 表 者	Lam Tat
所 在 地	5/F., Island Place Tower, 510 King's Road, North Point, Hong Kong
設 立 年 月 日	1982年
主 な 事 業 内 容	市場調査業
決 算 期	12月
従 業 員 数	150名
主 な 拠 点	香港、マカオ、広州、北京、上海
資 本 金	750万香港ドル(約9,450万円)
株 主 構 成	5個人と1法人で100%
直 近 の 業 績	売上高7,250万香港ドル(約9億1,300万円)(2012年12月期)



ダブルブランド展開で中国における調査事業の再構築へ

インテージグループのヘルスケア

医薬品のライフサイクルに応じたグループ全体での総合的支援体制を構築



アスクレップの海外展開

なぜ国際化が必要？

→国内臨床試験の国際化によるBudgetの移行

国際事業本部を設置

- アジア治験獲得の実施体制構築
- 海外案件獲得体制確立
- 新規事業の探索

米国RPS社と合併で

「RPSアスクレップ株式会社」を設立

- RPSのグローバルソリューションとアスクレップのリージョナルソリューションを融合し、新たなサービス領域を創出



**RESEARCH PHARMACEUTICAL
SERVICES, INC.**

(本社：米国ペンシルバニア州)

国際共同治験の豊富なノウハウを持つとともに、派遣型ビジネスをグローバルに展開。世界64カ国余りにおいて5000人以上の従業員を持ち、バイオ医薬品や医療機器、診断薬分野においてフェーズⅠからⅣまで一括したサービスを提供

経営資源を整備し、アジア地域における医薬品情報のHUBとして機能を強化

持株会社制へ移行、インテージホールディングス誕生へ

持株会社制への移行の狙い

成長分野への資源配分の最適化

人材の育成・交流

グループ会社によるコラボレーション

グループ共通業務の集約化・効率化

さらなる企業価値向上へ

分割の方式	当社を分割会社とし、当社の100%子会社である株式会社インテージ分割準備会社を承継会社とした物的吸収分割 株式会社インテージ→「株式会社インテージホールディングス」 株式会社インテージ分割準備会社→「株式会社インテージ」
吸収分割承認株主総会	平成25年6月21日(予定)
吸収分割効力発生日	平成25年10月1日(予定)



■ 2013年3月期決算の状況

■ 今後の成長戦略

■ 2014年3月期業績見通し

2014年3月期見通し(連結/セグメント別)

(単位:百万円)

		13/3期実績	14/3期予想	対前期比
■ 市場調査・コンサルティング	売上高	28,327	31,103	+9.8%
	(パネル調査)	15,980	16,763	+4.9%
	(カスタムリサーチ)	12,347	14,340	+16.1%
	営業利益	2,860	3,100	+8.4%
■ システムソリューション	売上高	4,964	5,148	+3.7%
	営業利益	151	180	+19.0%
■ 医薬品開発支援	売上高	6,638	6,800	+2.4%
	営業利益	296	325	+9.7%
連 結	売上高	39,930	43,052	+7.8%
	営業利益	3,309	3,606	+9.0%
	経常利益	3,213	3,383	+5.3%
	当期純利益	1,249	1,861	+48.9%

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

今後3ヵ年の計数計画(連結)

(単位:億円)

	14/3期(予想)	15/3期(予想)	16/3期(予想)
売上高	430.5	460.5	494.7
対前期比	+7.8%	+7.0%	+7.4%
営業利益	36.0	40.0	45.0
対前期比	+9.0%	+10.9%	+12.5%

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

利益配分に関しまして

- 当社は、連結業績をベースに、配当と内部留保のバランスを考慮した利益配分を行うことを基本的な考え方としております。
- 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要課題のひとつとして位置づけております。

	1株当たり 期末配当金 (円 銭)	配当性向 (連結) (%)	純資産配当率 (連結) (%)
12年 3月期	50 00	37.9	3.6
13年 3月期	50 00	40.2	3.4
14年 3月期(予想)	55 00	29.7	—

